

今年（2018年）の出来事としては地震や台風、豪雨など自然災害の印象が強いです。ノーベル賞や山口ゆめ花博など明るいニュースもありました。本庶先生は神原小、神原中、宇部高出身ということで宇部市民も沸きました。花博は周辺道路の渋滞に県外ナンバーを多く見かけましたので盛況だったようです。新山口駅の、特に在来線口側は昔の面影がないほどに整備されつつあり、駅周辺の今後の発展が楽しみです。

常盤キャンパスの中では特に変わったところはありますが、正門の前にコンビニができました。以前にもキャンパス内にコンビニはありましたが、夕方には閉まっていた。今回は24時間営業の本物です。キャンパス内の道に特に名前はついていませんが、体育館から正門に向かう真っすぐな道が私のメインストリートです。この通りからコンビニは真正面に見え、夜に体育館横から見ると正門が眩しく光っています。店の位置は正門から見てやや右手ですが、そこがメインストリートの延長線上なんですね。再開発以後、キャンパス内には彫刻が設置され、植樹が進み、学術資料展示館ができたりと常に少しずつ変化し続けています。ただ、これらはふだん私があまり通らない場所にあるので、今回のコン

ビニ開店は私にとって再開発以来最もインパクトのある変化と感じています。2,000人あまりが暮らすキャンパス内の人の流れを確実に変えていると思います。

さて、本号にもたくさんの方から様々な話題をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。常盤工業会は山口大学工学部に在籍する学生さんから数十年前に卒業された方まで、18歳から老練な方までの老若男女の集まりです。ある時期に数年間、常盤キャンパスで勉学に励んだことだけが共通点の、年齢、住む場所、周囲の環境は大きく異なる多様な会員で構成されています。本誌はこの多様な会員が読者で、また執筆者でもあります。現役の学生さんにとって先輩諸氏の経験談や思い出話はこれからの人生の参考になるでしょう。卒業生にとっては同世代の今を知り、退職後の身のふり方を考える参考にもなるでしょう。退職された大先輩の皆さんには常盤キャンパスの今や後輩諸氏の活動を見て往時を思い出されるのではないのでしょうか。これからも常盤工業会誌「常盤」を同窓生の経験談や情報を交換する場として活用していただければと思います。

（田中 一宏）

「常盤」編集委員長：朝位 孝二  
（社会建設工学科）

#### 編集委員

森田 実（機械工学科）  
梶山慎太郎（社会建設工学科）  
山吹 一大（応用化学科）  
村田 卓也（電気電子工学科）  
藤田 悠介（知能情報工学科）  
小林 剛士（感性デザイン工学科）  
田中 一宏（循環環境工学科）

#### 常 盤 82号

平成30年12月15日発行

発行 一般社団法人 常盤工業会

編集 『常盤』編集委員会

〒755-0039 宇部市東梶返1-10-8

T E L (0836) 32-7599

F A X (0836) 22-7285

E-mail tokiwa@bc.wakwak.com

<http://park14.wakwak.com/~tokiwa/>

振替口座 01550-5-25085

印刷 児玉印刷株式会社